

# 日光市の水道

## “おいしい安い水”を 供給するために



《安良沢浄水場全景》

六月一日から七日までは、水道週間です。市では、五月十五日発行の広報に「お知らせ版」でお知らせしたとおり、協賛行事の一環として、蛇口パッキングの無料修理、浄水場の開放、水道に関する相談等を実施しています。

四季折々に変化する山・湖・滝・溪で生まれた水は、全国的に「おいしい水」として知られていますが、この水にも限りがあります。

公共下水道の使用開始にともなって、水の需用は今後、ますます増加していきますが、市の水道事業と大切な水に対する理解を深めていただきたいと思えます。

### 標高差利用 経済的な 水道施設

水道は、わたしたちの生活にとって不可欠なものです。

市内の水道は、上水道施設が、日光地区と中宮祠地区の二か所、簡易水道施設としては、湯元、霧降、萩垣面の三地区に、それぞれ建設されていますが（下図）、東西に細長く、標高差が約一〇〇〇メートルもある市街地の地形を利用した「自然流下方式」で各地区へ水を供給しています。この方式は、第一に、経済性に優れていることです。

第二に、災害に強い水道建設や改良についての国の方針では、都市型水道のような中央集中的施設は、災害発生に備えるための施設改良に多額の投資を余儀なくされていま

す。これに対して、当市の水道施設のように、給水を地域別に配置した分散型の水道施設は、災害によるダメージを最少限にとどめることができるものと、高い評価を得ています。

### 水道事業は 受益者負担の 独立採算制

水道経営は、受益者負担の水道料金で賄われ、この負担は、受けるサービス（水の供給）の度合により、平等の原則で行われていますが、市では、家事用、営業用などの用途別料金を基礎にしています。しかし、水道事業者の多くは、近年、用途にかかわらず、口径により同一単価とする、口径別料金を採用する傾向になってきました。

## 日光市水道一般図

